

# 河和田地区

(福井県鯖江市) 第1回まち交大賞 テーマ賞

計 画 期 間 平成 17 年度～21 年度  
 面 積 13 ha  
 交付対象事業費 250,000 千円  
 市人口 68,114 人 (地区内人口 5,058 人)

## ポイント

1,500 年の伝統産業「越前漆器」の産地再生と災害復興を一体的に行う。

## 地区概要

当地区は鯖江市の東部に位置し、越前漆器の産地として栄え「うるしの里かわだ」として親しまれてきた。

## 目 標

地域の歴史、文化、自然環境の特性を活かした個性あふれるまちづくりを展開し、地域の再生を効率的に推進し、地域住民の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る。

## 指 標

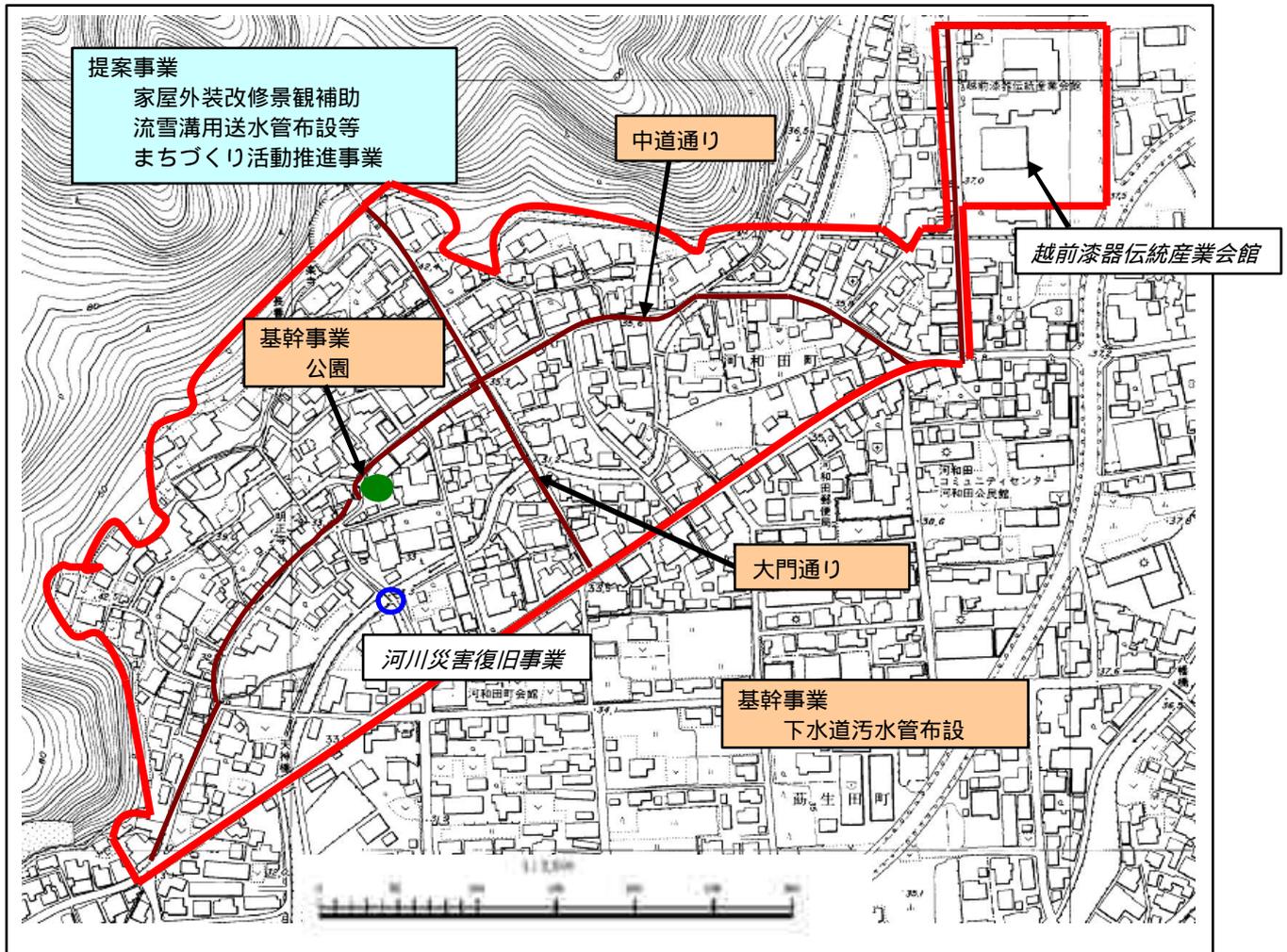
当地区は、越前漆器伝統産業会館をコアとする観光ゾーンであり、今後一層の観光客誘致を図る為、地区内メインストリートを「街なか観光」の骨格として位置づけ、観光客数の増加を目標に指標を設定した。

項 目	現況値 16 年	見込み値 21 年
観 光 客 数	15,000 人	20,000 人
美化活動の回数	2 回/年	9 回/年
緊急車両等の到着時間	30 分	15 分

## 事業内容

**基幹事業** 242,000 千円  
**提案事業** 8,000 千円

**道路・公園・下水道・高質空間形成施設 (高質道路舗装)**  
**流雪溝・景観補助・モニタリング・講演**



## 地区の現況と課題

鯖江市の東部に位置する河和田地区は、基幹産業のひとつである越前漆器の主産地であり、日本有数の漆器産地としてこれまで栄えてきた。しかしながら、近年の長引く不況と平成 16 年 7 月の福井豪雨による甚大な被害により、当漆器産業は危機的な状況に陥っている。

このような状況の中で、漆器産業の早期復興を図るため、産地再生に向けた実効性のある施策を社会基盤の再生事業と併せ、一体的に進めるべく、まちづくり事業に取り組むものである。

## 提案事業の特徴

街並み形成の誘導と、景観への啓発活動の促進と拡大。  
まちづくり協議会に於いてアンケート、モニタリング  
広報活動を実施していく。

## 計画策定プロセス

河和田中道地区、約 4ha を「景観づくり推進地区」に指定した。この指定に伴い、「河和田中道地区景観づくり基準」を策定。

単独事業にて中道地区内道路の拡幅改良工事を行う。  
を行う。

平成 16 年 7 月の福井豪雨災害により、当地区が甚大な被害を蒙り、早急な施設の復旧と地域産業の再生が急務となり、まちづくり交付金事業を申請し平成 17 年 3 月に採択を受ける。

## 鯖江市長牧野百男氏のコメント

本地区は、1500 年の伝統を誇る越前漆器の産地「うるしの里」として、眼鏡産業と共に本市の基幹産業を占めてきました。本市としては、これまで地区内道路沿線の景観向上の促進を図った「景観づくり推進地区」の指定や地域産業の再生のための施策を行ってききましたが、平成 16 年 7 月に本地区を襲った福井豪雨災害により、地区内の多くの家屋、漆器工房が甚大な被害を受け、本地域の早期の災害復旧および産地再生の取組みが急務となりました。

今後、「まちづくり交付金事業」を活用し、「災害に強い安心、安全なまちづくり」と共に、漆器産業の産地復興と観光誘導を含めた一層の地域振興を目指し事業の展開を図って参ります。

## 福井豪雨（H16・7）



## 整備方針概要図



## 景観を考慮した地区内家屋



## まちづくりニュース

